

平成18年度病害虫発生予報第5号 (8月予報)

＜お知らせ＞ 経過措置と台風対策に関するお知らせがあります (裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

マンゴーハフクレタマバエ (マンゴー)

学名: *Procontarinia mangicola*



生態と被害

本種はマンゴーの害虫である。幼虫が新葉などの柔らかい組織の内部を食害し、円形で水浸状の黄色の斑点を形成する。老熟幼虫(約2mm)は、土壌表面付近で蛹化する。幼虫が脱出した後の被害痕は葉が硬化するに伴い褐変し、大きさが2～4mm程度の円形の斑点になる。多発生すると新葉全てが落葉し、花芽の伸長不良の原因となる。成虫は体長約1.5mm、明赤褐色のハエである。約2週間で卵から成虫になると考えられる。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。